



CHARTERED JAN,3, 1980

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB

仙台青葉城ワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF SENDAI-AOBAJOH

Sendai YMCA, 9-7 Tachimachi,
Aobaku, Sendai 980-0822 Japan

〒980-0822

仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL(022)222-7533 FAX(022)222-2952 E-mail:info@sendai-ymca.org

== 2014~2015年度 主題 ==

国際会長【Talk Less, Do more : 言葉より行動を】 Isaac Palathinkal (インド)

アジア地域会長【Start Future Now : 未来を始めよう。今すぐに】 岡野泰和 (大阪土佐堀)

東日本区理事【With Pride and Plesure : 誇りと喜びを持って】 田中博之 (東京)

北東部部長【「一体となって一歩前に」 一楽しく、楽しく、楽しくー】 大久保知宏 (宇都宮)

クラブ会長【心一つに一丸となって、ともに歩む仲間を増やそう!】 南澤一右 (仙台青葉城)

VOL. 381

2015年04月

強調月間：「LTの月 (Leadership Training)」

<今月の聖句>

わたしのいましめはこれである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。
(ヨハネによる福音書第15章12節)

『 LT 強調月間と例会を考える 』

クラブ会長 南澤 一右

毎年4月はLT強調月間ですが、自分の会長時代を思い起こしてみると、これまでLT強調月間としての特別な取り組みをあまりしていなかったことを痛感しております。

昨年度の4月例会プログラムを確認してみると、夜桜散策例会の実施でした。楽しい例会の企画としてはとてもよいことではありますが、LT強調月間とはあまり関係のない内容になっていたことは一考の余地があったかもしれません。

4月がちょうど桜の季節であり、その時期に楽しいお花見例会を開催することは、ごく自然なことであり、もしかしたら、LT強調月間を他の月、例えば、次期クラブ会長・部役員研修会の実施される3月などにすることが理想的なのかもしれないと思うところもありました。そうして、LT強調月間とした3月の例会では、次期クラブ会長・次期部役員の研修会参加報告の時間を十分に取って実施することで、研修会参加者の復習にもなりますし、参加者以外のメンバーに対しての研修にもなります。

東日本区では、内容の充実したLT研修を実施していますので、次期クラブ会長や次期部役員のみならず、誰もがリーダーになる可能性のあるクラブメンバーも、LT研修内容を常日頃から理解しておくことは、決して無駄にはならないと思います。よい訓練を受けたリーダーの下では、組織の活動が活発化すると言えます。

LT強調月間を迎えて、他のメンバーが、いつリーダーになってもよいように事前に準備をしておくことを再認識する月にもなりました。



↑ 今年の仙台榴ヶ岡公園のシダレ桜

3月例会				B F		スマイル	
会員数	14名	メネット	3名	切手	0kg	今月	9,000円
出席者	8名	ゲスト	0名	現金	10,000円	累計	115,814円
Make-Up	1名	出席率	64%	累計	10,000円	ファンド	131,314円

会長	南澤	一右
副会長	遠藤	勝志
書記	車塚	潤
会計	菊地	弘生
直前会長	南澤	一右
メネ会長	加藤	真子
担当主事	青木	絵美

国際標語：「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」

3月第一例会報告

日時 2015年3月19日(木) 18:45~20:45
 場所 仙台YMCA会議室203
 出席者 青木(絵)、尾木、加藤、金原、菊地、佐藤(あ)、清水、涌澤

<メネット> 加藤、金原、岸田

内容 「TOFとBF(使用済み切手の整理)の月」
 2月例会は、創立35周年記念例会となったため、TOFとBFのプログラムを当月に繰り延べ実施した。食事はおにぎりとお茶、全員がハサミを持参して、集められた使用済み切手の整理作業に精を出した。残った古切手は各自自宅に持ち帰り、整理して次回以降の例会時に持参することになった。



4月第二例会報告

日時 2015年4月2日(木) 18:45~20:45
 場所 仙台YMCA会議室203
 出席者 青木(絵)、青木(ま)、加藤、金原、菊地、佐藤(あ)、清水、南澤、涌澤、加藤・金原
 <メネット> 加藤、金原

開会点鐘・会長挨拶 南澤 一右
 議事 司会 菊地 弘生

1. 4月第一例会の確認
2. 北東部評議会について
3. YMCA 特別プログラム委員長の選任
 - ①2015 チャリティラン委員長 菊地会計
 - ②国際・地域協力募金委員長 南澤会長
4. 3クラブ合同委員会報告
5. YMCA からのお知らせ
6. その他報告(メネット会より)

閉会点鐘 会長 南澤 一右

< HAPPY BIRTHDAY >

・4月10日 松田須美子さん

5月第一例会のご案内

日時 2015年5月21日(木) 18:45~
 場所 仙台YMCA 203

クラブ・今後のスケジュール

- 4月18日(土) 北東部評議会(宇都宮・13時)
- 4月25日(土) 阪和部被災地訪問
- 4月26日(日) //
- 5月01日(金) 大震災支援3クラブ実行委員会
- 5月07日(木) 仙台青葉城クラブ第二例会
- 5月08日(金) 中西部被災地訪問
- 5月09日(土) //
- 5月09日(土) 加茂保育園10周年記念礼拝
- 5月16日(土) 石巻広域クラブ設立準備委員会
- 5月21日(木) 仙台青葉城クラブ第一例会
- 5月30日(土) 仙台YMCA 会員総会および110周年記念式典
- 6月06日(土) 第18回東日本区大会(厚木市)
- 6月07日(日) //(2日目)

(仮)石巻広域ワイスメンズクラブ報告

石巻広域地区への新クラブの設立準備委員会(平井孝次郎委員長)では、毎月1回YMCA石巻支援センターにおいて、設立に向けての準備を地元有力候補メンバーと共に進めています。全国のワイズの皆さん、ぜひ石巻方面にお知り合いの方がおられましたらご紹介ください。

石巻広域ワイスメンズクラブ入会のお誘い

石巻広域圏に新しい仕事クラブを立ち上げています

●ワイスメンズクラブとは

青少年育成団体であるYMCAの支援と地域や国際社会に奉仕する国際的なボランティア団体です。全世界で約3万人、日本では約3千人が各地のクラブに所属し、月例会や奉仕活動を行っています。このたび、私たちは東日本大震災復興支援活動を継続し、地域への奉仕活動を行うため、初のワイスメンズクラブを石巻広域圏に立ち上げることになりました。あなたも同じ志を持ったメンバーとの親睦そして奉仕活動を通じて、楽しい豊かな日々をご一緒に過ごしませんか? きっと素晴らしい出会いが待っています。

●こんなクラブ作りを目指します

- ・YMCAと共に東日本大震災で被害を受けた方々への支援活動を行います
- ・会員同士の絆を強め、親睦を計り、自己研鑽に励みます
- ・将来を担う子ども達や若者、賑がいをもつた人達に目を向け、支援活動を行います
- ・国際協会である世界のワイスメンズやワイスワイメンとの交流を通じて、国との隔たりや民族、宗教や風土の違いを越えて世界平和のために尽力します
- ・石巻地域の文化や伝統を国内外に伝えます

●例会会を下記の場所で行い！ 趣向性しております

場 所 YMCA石巻支援センター(石巻駅前商店街 山合銀行前)
 住 所 〒986-0624 石巻市立町1-5-11
 電 話 090-2385-7940(漢水弘一)・090-6592-7822(伊藤剛士)
 電子メール: kosham-send2@ykcplia.or.jp

東日本大震災支援活動関連報告 2015年4月号

▼ 姫路グローバルクラブ第5回目の被災地訪問と DBC 交流

3/21-22、DBC の姫路グローバルクラブより7名、そして神戸ポートクラブと那須クラブから各2名の計11名が被災地訪問として仙台に来訪されました。震災の年から今年で5回目の訪問です。最初の震災の年は長靴姿で半壊状態の仙台空港に降り立ち、手を取り合ったあの時の嬉しさはいまだに脳裏に焼きついています。(↓岩佐いちご園ハウス前)



まずは、初年度から泥かきのお手伝いをしてきた山元町岩佐いちご農園訪問。“YMCA と出会わなかったら今の自分たちはなかった”と話す岩佐御夫妻は、自宅を新築しようという意欲に燃えていました。農園で昼食の弁当を食べた後、3月に常磐道が全線開通したのを機に、浪江・双葉まで放射線空間線量計を片手に出発。原発が近づくにつれ、どんどんと数値が上がる様を目にし、またゴースタウンと化した浪江・双葉の町を走りながら、4年経ってもまだ自宅に戻れない多くの人々や、仕事を奪われ、全てが覆された福島の人々の思いに心を重ねながら、主はいなくとも庭に変わらず咲く花を見ながら虚しい思いに捕われました。2日目は、「石巻広域ワイズメンズクラブ(仮称)」設立の核になっていた日野先生を案内役に、石巻の日和山、登米、大川小学校、最後は川の上プロジェクトとして仮設住宅に住む人達と地域の人々を繋ぐ、オープン間近の集



会所「百俵館」を訪問(写真)。後日、絵本を贈呈す

る約束をし、急ぎ空港へと向かい2日間の交流を惜しみました。後日、被災地訪問は今回の5回目であったん一区切りをつけ、今後はクラブとしてではなく、有志でおじゃまする、というような形になるかもしれないとの話しが届きました。

形は変わっても被災地をいつも忘れないでいただく姫路グローバルの皆さんに感謝をしながらまたの出会いを心より願っています。

▼ 世界YMCA同盟ボスナー会長夫妻が被災地訪問

仙台にも桜の開花宣言が出された4月3日、NGOピースボートとの共催プログラム・「平和の航海」を終えて、世界YMCA同盟ピーター・ボスナーとジル・ボスナー夫妻が東京、横浜を經由して来仙された。限られた時間の中でしたが、YMCA石巻支援セ



↑ 女川町の復興状況を視察するボスナー夫妻

ンターの伊藤スタッフの説明で、津波で多くの子ども達と先生が犠牲になった石巻市大川小学校、雄勝町と女川町の復興状況や、渡波地区では仮設住宅に入居されている被災者宅を訪問した。石巻支援センターでは3年間の支援活動の説明を受けた後、ご夫妻からは、初めて見る被災地にショックを受けながらも発生当時の状況や復興状況について多くの質問あった。

翌日は、仙台YMCA立町会館を訪問、4年間の支援活動の説明を受け、スタッフを励まされ、最後の訪問地である栃木YMCAに向かい、その日の夜遅く成田空港より離日された。

▼ 名古屋グランパスクラブ宮古地区を訪問

4/11(土)～4/12(日)、今回で3度目となる名古屋グランパスクラブのメンバーが被災地応援にやってきました。名古屋グランパス7名、名古屋1名、京都東稜6名・東海1名の各クラブ、YMCA会員1名の計16名、そしてこちらはもりおかクラブより井上さん、三上さん、私、そして仙台YMCAより宮古で孤軍奮闘していただいた斎藤さんがドライバーとして、前日から盛岡入りしていただき、合計20名で陸前高田市役所表敬訪問～大槌町～宮古～浄土ヶ浜～田老防潮堤～三陸鉄道～久慈～花巻空港とい



うコースを案内してきました。

陸前高田市役所では復興の現状を町づくり推進委員の方より話を伺い、その後、大槌町では語り部の方に津波の脅威を聞きながら、宮古の陸中宮古休暇村にて宿泊。二次会まで話が弾み、翌日は素晴らしい景観が蘇った浄土ヶ浜、そして田老駅から久慈駅まで南三陸鉄道北リアス線の1両ワンマンに乗車。橋梁の流出等で大きな被害を受けた鉄道に、今こうして光り輝く海を眺めながら乗車していることに感慨深いものがありました。

最後の昼食会場の久慈グランドホテルで、盛岡YMCA並びに宮古への支援金として、中部合同例会、東海クラブ、四日市クラブより計57,344円の義援金を頂戴し(写真↓)、代表して井上ワイズがお預かりいたしました。遠路お越しいただいたワイズメンの皆様、本当にありがとうございました。斎藤さん、2日間お世話になりました。感謝です！(加藤重雄ワイズ同行記)



▼ DBC ペンタゴンクラブの支援園児が卒園式を迎えました

2012年より3年にわたりDBCペンタゴンクラブ(東京西クラブ、京都ウエストクラブ、大阪西クラブ、神戸西クラブ、熊本にしクラブ)より奨学金の支援をいただいた仙台YMCA幼稚園の2番目の園児が(長男)が無事卒園式を迎えました。去る3月14日の卒園式には小学2年生に成長した長女を伴いご両親が挨拶に見えられ、村井総主事と学校法人清水理事長が対応しました。ご夫妻からは、「ワイズメンズクラブの皆さまには感謝しきれない思いでいっぱいです。4月より新たな地・東松島市で生活を始めることになりました。これからも、何らかの形でYMCAに繋がり、今度は被災地の復興のため

に自分たちでできることに関わっていきたくないと申され、ワイズメンズクラブの皆さまへとお礼状をいただきました。(下記↓)

拝啓 旅立ちの春を迎え日増しに春の暖かさを感じられるようになりました。

この度長男が3月14日YMCA幼稚園卒園式を迎える事になりました。仙台に来て3年、はじめは慣れない土地での生活に私自身も不安もあり、新しい環境に戸惑い、泣く子どもたちの姿にこれで良かったのかと悩んだ時もありました。しかし、日に日に子どもたちの表情がいきいきと輝き、たくましく成長していく姿に私共も不安という気持ちがいつしか期待へと変わっていました。YMCA幼稚園で過ごした日々、出会いそして様々な活動を体験した事は子どもたちにとって大きく心に残るものとなりこれから成長していく過程での力となるでしょう。

陰ながら支えてくださったワイズメンズクラブの皆様には本当に感謝しきれない思いです。ありがとうございました。4月より新たな地、東松島市で新しい生活を始めることになりました。ワイズメンズクラブの皆様からの多大なるご支援をいただいた事を心に刻み、今度は私共ができることを少しずつやっていければと思います。

終わりになりますが、皆様もお体に気をつけてお過ごしください。本来ならば皆様にお会いして御礼を申したかったのですが、書中にての御礼とさせていただきます。

ありがとうございました。

敬具

平成27年3月

高橋直樹・理恵



写真上・中央が高橋ご夫妻、下・卒園式



▼東日本区理事メッセージ (理事:田中博之)

主題:「誇りと喜びを持って」

次期クラブ会長・部役員研修会も終了し、ワイズは年度終盤の4半期を迎えています。この時期は今年度にとっては仕上げのときであり、次年度にとっては準備の最終段階です。今年度に行おうとしてまだ十分にできていないことはラストスパートに期待いたしますし、積み残しとなりそうなことは是非次期に繋いでください。ワイズ活動は1年ごとに終わるものでなく、今期から次期へとバトンを実際に渡していくこと、年度を越えてPDCAをしっかりと行うことによって成長し続けていけると信じています。

今、東京地方では桜が満開です。那覇では1月末に満開となり、東日本区最北の北見では5月中旬に見頃を迎えます。長期にわたる桜のバトンリレーに、東日本区の広さそしてそこでの私たちの成長の可能性を改めて実感しています。

<第18回東日本区大会>

- ① 日時 6月6日(土) ~7日(日)
- ② 場所 厚木市文化会館
- ③ 当クラブの申し込みは 加藤重雄ワイズまでお願いします。



仙台YMCAニュース

1. 仙台YMCA創立110周年記念式典並びに会員総会開催のお知らせ

日時 5月30日(土) 午後2時~午後5時
 会場 仙台YMCA 201教室及び4階ホール
 内容 第1部 記念礼拝
 第2部 会員総会
 第3部 記念式典

- ①仙台YMCAの変遷(スクリーン上映)
- ②会員表彰・感謝・110周年特別表彰
- ③タイ農村ワークキャンプ報告会
- ④インドスタディツアー報告会

2. 仙台YMCAバザー物品寄贈のお願い

6月14日(日)に仙台YMCA立町会館において仙台YMCAバザーが行われます。毎年多くの皆様に足を運んでいただき大賑わいのバザーが行われています。今年度も皆様が楽しめるバザーを実施できるように準備を進めてまいります。ご家庭に眠っている未使用の物品などがございましたら、ぜひYMCAに寄贈していただきますようお願い致します。



↑2014年6月のバザー(ワイズの出店)

【盛岡YMCA宮古ボランティアセンター移転・感謝とご案内】



盛岡YMCA 理事長 石渡隆司

同総主事 濱塚有史

主の御名を賛美します。東日本大震災から4年の年月が経過しました。ワイズメンズクラブの皆さまにおかれましては震災当初から

物心両面に渡って多大なご支援を頂きましたことを心より感謝申し上げます。

さて、皆さまからの募金で建築された宮古ボランティアセンターですが、今年の5月末をもちまして敷地の土地使用契約が終了します。そのため、ボランティアセンターの移転の準備を昨年末から進めて参りましたが幸い、宮古駅から徒歩20分の場所にある元印刷会社の事務所兼作業所を賃借することができました。プレハブの建物の処分についても苦慮しておりましたが、YMCAが震災当初からヘドロの除去、瓦礫の撤去等のボランティア活動を行ってきた宮古市鉾ヶ崎漁港にあった銭湯「七滝湯」の復建プロジェクトの一環として利用して頂けることとなりました。銭湯の事務所等に使用される予定です。「七滝湯」の復建は、壊滅的な被害を受けた鉾ヶ崎地区の復興の一つのシンボルとなることと思います。また、当初多額の解体、撤去費用が予想されましたがこちらの方も復建プロジェクトを支援する地元の建築業者の方が無償で引き受けて頂くこととなりました。ボランティアセンターの引越は5月初旬を予定しております。

・転居先住所: 〒027-0066 宮古市田の神 1-2-32

盛岡YMCAは、2021年まで10年間被災地復興支援活動を継続することを目的としそして、この活動を通して

- ① 他者の悲しみを自分のことのように悲しめること
- ② 他者の喜びを自分のことのように喜ぶこと
- ③ 自分のしてほしいことを他者にもしてあげられるようになること

以上の3つの価値を宮古の子どもたち、家族、地域に伝えていきます。そのためには、新拠点における事業開発、宮古ワイズメンズクラブの設立等、新たな課題にも取り組んで参ります。どうぞ、これからもご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。(区ニュース第8号より転載)